

事務事業名 **ボンヤンケシ川改修事業**

区分	No	名称
章	2	自然とともに暮らすまち
節	3	安全に安心して暮らせるまちづくり
施策	1	総合防災体制の整備
小分類	3	治山・治水対策の推進
主要な施策	2	治水事業の推進
事務事業番号	005	事業開始年度 平成 22 年度 事業終了年度 平成 25 年度 会計種別 一般会計

部 名	都市整備部	グループ名	土木グループ
-----	-------	-------	--------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	適切な河川整備を行うことにより、治水対策の推進を図ることを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成23年度の実績を具体的に記入してください)
	全体整備計画 河川延長 130m、河川幅 4.0m、管理用通路幅 3.0m+1.0m  平成23年度 用地買収 一式
今後の方向性	道道中央通の整備に合わせて、河川整備を行う必要があることから、道と連絡調整を行いながら整備を進めていく。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください) 河川法

事業費（財源内訳）の推移

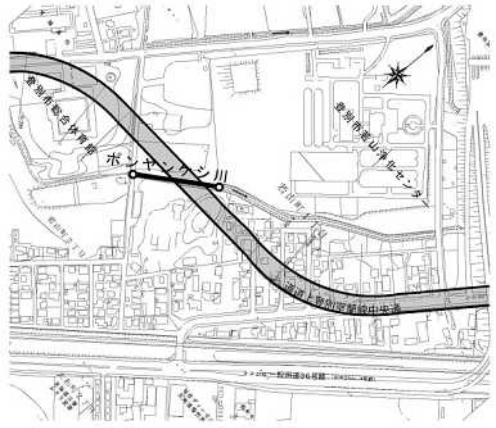
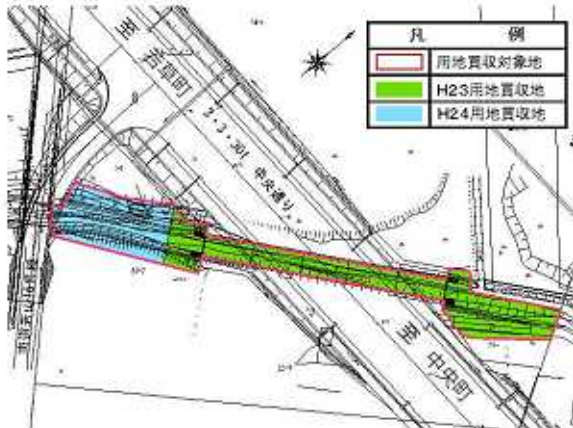
《Plan・Do》

区分		単位	H22年度 決算	H23年度 決算	H24年度 当初予算	H25年度 見込	H26年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円	9,700	5,200	5,400	10,900	
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	65	4,034	700	1,300	
事業費 合計			9,765	9,234	6,100	12,200	0

指標の推移

《Check》

区分		単位	区分	22年度 実績	23年度 実績	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	整備延長	m	目標値				130	
			実績値					
			目標値					
			実績値					

位置図	住所 若山町 1丁目	詳細図
		

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可）

1. 事務事業の妥当性について		
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	市が主体に行うべき事業である 民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である 国、道、民間等の事業と重複・類似している	判断理由及びその他所見 市の河川整備に関する事、民間に類似した事務事業がないことから、市が事業主体として実施することが妥当である。
2. 事務事業の必要性について		
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	市民、団体等から具体的な要望がある 市民アンケートの結果から必要性が高い 社会情勢、地域事情等から必要性が高い 市民の大部分が関連することから必要性が高い	判断理由及びその他所見 北海道が施工する街路中央通に併せて整備する必要があり、一体的に整備することによって、危険箇所を解消し、防災機能の向上と暮らしにおける安全・安心の確保を図るものである。
3. 事務事業の効率性について		
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	低予算、少労力で高い効果をあげている 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い 多額の経費や労力を要するがやむを得ない 将来的に効率性を向上できる	判断理由及びその他所見 今後、用地買収及び整備工事を実施することとなり、工事内容からコスト削減の工種などの要素がない。
4. 事務事業の成果について		
目的を達成するための成果はあがっていますか？	成果指標の向上が見られる 市民、団体等の声から成果を感じられる 目に見える形で成果があがっている 成果の把握は困難である	判断理由及びその他所見 計画どおり事業が進んでおり、引き続き、用地買収及び整備工事を実施していく。

担当グループによる評価

<p style="font-size: 2em; font-weight: bold;">維持</p>	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	本事業は河川整備事業であり、事業区間の全部を完成して目的を発揮するものである。
--	----------------------	---

行政評価会議による評価

<p style="font-size: 2em; font-weight: bold;">維持</p>	備考
--	----